



Serve to Change Lives

ガバナー月信

国際ロータリー第2550地区

2021-2022年度 2月号



＜ロマンの碑＞ ＜芳賀郡芳賀町＞

明治の画家「青木繁」と芳賀町出身の女流画家「福田たね」、その子である幸彦（後の福田蘭童）をモデルにしたもの。ハンガリー出身で益子町に在住していた哲学者・彫刻家の故ワグナー・ナンドール氏に設計・製作を依頼し、昭和51年完成した。

ロマンの碑の説明板には、「青木繁」の名作の数々が、「福田たね」との愛の中から生まれたことを記念して製作したとの事。

Contents

ロータリーの目的・四つのテスト.....	2	米山奨学生研究発表.....	12
ガバナーメッセージ.....	3	コーディネーターニュース.....	14
ガバナー公式訪問並びにクラブ紹介(奉仕事業)だより.....	4	2021-2022 地区内主要行事.....	15
ガバナーノミニー・デジグネート確定宣言.....	9	新入会員紹介.....	15
お知らせ.....	9	物故会員.....	15
地区ローターアクトクラブ年次大会報告.....	10	12月会員数報告.....	16



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。
具体的には、次の事項を奨励することにある。

- 第1** 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること
- 第2** 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること
- 第3** ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること
- 第4** 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるかどうか



「平和と紛争予防／紛争解決」 月間に寄せて

国際ロータリー第2550地区 2021-22年度ガバナー

いし だ じゅん いち
石 田 順 一 (真岡ロータリークラブ)

暦の上では大寒が過ぎ、寒さの厳しい日が続きます。ロータリアン、パートナー、ローターアクターの皆様にはご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

昨年11月緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が解除されましたが、程なく変異種オミクロン株の感染が報じられ、現在、デルタ株とオミクロン株による感染者が急増してきました。まだまだ予断を許さない状況が続きそうです。

昨年の今頃は、国際協議会参加のため、期待と希望を持って国際協議会への準備をしておりましたが、世界的なパンデミックのため国際協議会がバーチャル開催となってしまう非常に残念だったことを思い出します。

その後の、PETSやSETSなどの重要な会合もすべてがオンライン開催となりうまくこなしていけるか、そんな重圧と不安も感じていましたが、地区の皆さんのご協力もあり何とかこなす事が出来ました。もう一年たつたと懐かしくも感じます。

理想の世界を構築するために我々は世界規模で活動しています。2月は「平和と紛争予防／紛争解決月間」となっております。RIの他の重点分野も叶えられれば、おのずと紛争解決、世界平和に寄与するものと思います。ロータリーは創立以来、世界大戦を2回乗り越えた実績があり、苦しんだ歴史があります。

多くの困難な体験からポール・ハリスは強く平和を希求し解決方法を模索しておりました。RIは世界平和実現のために、我々の援助で2002年に「ロータリー平和センター」を設立しています。紛争は経済的貧困、教育機会の欠如、宗教の違いや民族間の対立、集団心理などが絡み合い要因は複雑なものですし、紛争の数だけ、過去の歴史的要因も積み重なっていると思われます。それらを調査し分析して、多角的視点からアプローチし世界平和を成し遂げる分野の研究が必要です。

現在、世界中でおよそ1300名の平和フェローが平和構築のためにリーダーシップを発揮し活躍しています。ロータリアンは奉仕と高潔性、世界理解、親善を武器に世界平和の実現化を目指している団体です。我々の活動が世界平和に直結していることを自覚しましょう。

また2月は次年度の始まりがよいスタートする月です。次年度の準備も本格化し、地区、各クラブのキャビネットもほぼ決定して、次年度のRI会長ジェニファー・ジョーンズ氏の方針がガバナーに伝えられ、各グループのガバナー補佐と共に地区チーム研修で地区の委員長に伝えて、PETSで会長としての役割を自覚して頂くこととなります。次年度の活動をクラブ内で有機的に進め、実行するために重要な月です。

この10年で在留外国人の方々が増えてきているように思います。国内でも事業を営む外国人は珍しい存在ではなくなってきました。しかし、日本のロータリーにロータリーの拡大を多様性という事で求めるには無理があるような気が致します。日本人にとって国内で職業人として理解し合うには時間がかかりそうです。しかし、我々は時間をかけてでも、外国の方に、崇高な理念をもったロータリーの活動に興味を持って頂ける見本となる行動をとり、クラブの強化に結びつける必要があります。

ロータリーが与えてくれるもの、「世界に触れる機会」と捉えてみてはいかがでしょうか。

7/21(水) 佐野東ロータリークラブ

会長 小林 伸司
幹事 栗崎 卓二



2021年7月21日(水)、石田順一ガバナー、三好仁第9グループガバナー補佐をお迎えしてガバナー公式訪問を行いました。会長幹事懇談会では、当クラブからは小林会長、栗崎幹事、遠藤会長エレクト、村野幹事エレクトが出席して、和やかな雰囲気の中で懇談会を進めることができました。会長幹事懇談会では、当クラブのクラブフォーラムを取り上げていただき、時節に応じて様々なテーマで話し合えるプログラムを評価して頂きました。また第9グループでは唯一女性会員が在籍していることなどを取り上げて頂き、更なる女性会員の増強についてもご助言を頂きました。

クラブ例会においては感染防止を配慮した会食の後、石田ガバナーより卓話をいただきシェカール・メータRI会長の熱い思いや、会員増強についての強い意思をお伝え頂きました。余談ですが石田ガバナーの個人的なお話から、音楽への造詣の深さを感じました。音楽を通じて地域の活性化に貢献したいとお話を伺い、石田ガバナーの人間としての奥深さも感じることができました。

石田ガバナーにおかれましては、公式訪問が続くと思いますが、お体に十分ご留意され、ガバナーとしての職責を全うされることを心よりお祈り申し上げます。本日は佐野東ロータリークラブを公式訪問して頂き誠にありがとうございました。

10/8(金) 真岡西ロータリークラブ

会長 山口久一郎
幹事 嶋田 修



10月8日(金) 石田順一・ガバナー、高山忠則・ガバナー補佐、金子正男・地区幹事・石塚龍夫・地区会計長をお迎えし、ガバナー公式訪問を開催致しました。

当初は会長・幹事との懇談会だけの予定でしたが、栃木県のコロナ緊急事態宣言も解除されることになったので、地元真岡市出身の石田ガバナーから直接お話を伺いたいとの会員・理事からの強い要望をお伝えし、第一部での会長・幹事との懇談会に引き続き第二部で例会にも参加して頂くことになりました。

第一部の会長・幹事との懇談会には、会長・幹事の他に会長エレクト・副幹事も出席し、和やかな雰囲気の中で意見交換ができました。

真岡西ロータリークラブは現在創立38年目で会員36名ですが、石田ガバナーから節目となる創立40周年を目指して周年事業目標設定をする等、会員増強の取り組み方について事例等を踏まえての貴重なアドバイスをいただきました。

ネット環境の整備の必要性に関して、真岡西ロータリークラブからは「ZOOM例会推進委員会」を立ち上げて推進していることを報告致しました。

第二部は、12:15分からの記念写真撮影に引き続き、12:30から食事付の例会を開催致しました。

例会ではバナー交換の後、13:00からガバナーアドレスをいただきました。

石田順一ガバナーからはプロジェクターを使つての2021-2022年度・RI会長シェカール・メータのメッセージの紹介及び石田順一ガバナーメッセージと地区目標等の丁寧なお話を頂きました。

オープンディスカッションは中止し、13:30に例会及びガバナー公式訪問を終了致しました。

石田順一ガバナー、高山忠則ガバナー補佐、金子正男地区幹事、石塚龍夫地区会計長様には、ご多忙の中ご来訪頂き誠にありがとうございました。

10/19火 足利東ロータリークラブ

会長 小座野清博
幹事 島田 将行



コロナウィルスの影響により、例会の休止を余儀なくされたクラブが相次ぐなか、当クラブでは、ウィルス蔓延当初から例会開催の重要性を重んじ、開催手法の試行錯誤の結果オンラインでの例会を行って参りました。ただオンラインでの出席率は、以前より約半減してしまいました。しかし、出席率の向上の為に、これを機に新しい例会方式を今後の課題として考え改善したいと思います。そして今回の公式訪問も事前の予定ではオンラインによる開催を考えておりましたが、コロナも減少傾向になり緊急事態宣言も解け、緊急にご相談させていただきまして、対面によるガバナー公式訪問を行う事が出来ました。誠にありがとうございました。

公式訪問は、例会前の会長・幹事懇談会、例会講話とさせて頂きました。残念な事に第8グループガバナー補佐様は体調不良の為、当クラブパスト会長の代行となりました。懇談会では、ガバナーより現況報告書を基に細やかなご指導を頂きました。特に弱体化しているクラブ基盤の強化、その原因でもある会員増強に関し計画的な取り組みを単年度ではなく長期的に行う事、また周年事業などとの一環として考えるなど、多面的に工夫を凝らしたものを取り入れてはとのご指摘を受けました。早速、計画を進めて行こうと考えております。その他、社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕それぞれの活動課題に移り、インターアクトの積極的な活動、改定されたロータクトに関する現状と問題点に関したお話を頂きました。また、ロータリー財団の寄付では地区表彰の対象であり、米山の協力に対しても今後も継続した寄付と支援の要望を頂きました。当クラブとしては、財団の補助金を活用した活動もグローバル補助金、地区補助金共に様々なプロジェクトに承認を頂いておりまして、地区のご理解には平素より心より感謝を申し上げるものであります。

そして昼食をはさみ例会と進みガバナー講話を頂きました。RI会長のテーマに関するご説明を動画とスクリーンにて解りやすいお話を頂きました。併せて地区方針・目標の協力とRIの組織改革に関するDEI、今後の新しい組織のあり方、SNSを活用した公共イメージの向上、ロータリーの中核的価値観等についての貴重な研修となりました。とても有意義な例会になりまして石田ガバナーには深く感謝いたします。ありがとうございました。今後も、低迷している奉仕活動は再開の為に計画の準備は進めて行く所存であります。特にRIの推奨する「ロータリー奉仕デー」を活用した足尾の植樹活動を大々的に実施したいと考えます。コロナによる新しい生活様式を充分考慮し、徐々に活動をはじめていこうと思います。是非その折にはカウンセラー、関係委員会など地区関係皆様のご指導を宜しくお願い申し上げます。

11/4木 大田原中央ロータリークラブ

会長 植木 盛雄
幹事 富塚 保



爽やかな秋晴れの11月4日、当クラブ例会会場KATSUTAYAにて石田純一ガバナー公式訪問がおこなわれました。

日本に3台のみという、ロータリーのロゴマークを全身にあしらったワゴン車が到着。森本パストガバナーを筆頭にガバナーを歓迎申し上げました。

石田純一ガバナー、富田勸ガバナー補佐、金子正男地区幹事、石塚龍夫地区会計と当クラブ現会長・幹事および次年度会長・幹事による懇談会を開催。石田ガバナーが方針をお示になり、当クラブの活動内容についてのガバナンスがありました。また会員増強や地区資源の活用等についてもアドバイスがございました。現在当クラブ申請中の奨学生やマイロータリー登録等に関して富田ガバナー補佐、金子地区幹事、石塚会計長からも豊富な経験談を頂きました。紙面をもつ

ガバナー公式訪問並びにクラブ紹介(奉仕事業)だより

てお礼申し上げます。

コロナ感染も大幅に減少し、久しぶりの食事を伴う例会が開催されました。

国際RI会長シェカール・メータ氏の方針のビデオ、続いて石田ガバナーの方針のご説明がありました。残念ながらオープンディスカッションは感染防止のため見送られましたが、ガバナーのお人柄を反映しての和気あいあいとした会話により予定の時間があっという間に経過しました。ロータリー活動を通して素晴らしい方々との出会いが人生を豊かに致します。石田ガバナー御一行との知己を得て親睦の輪が広がりました。当クラブのモットーとする楽しさをそのままに、国際医療福祉大学生食糧支援、ザゼンソウ自生地清掃、奨学生のサポート等奉仕活動にも取り組んでまいります。

石田ガバナー御一行様、お忙しい中ご訪問頂きまして誠にありがとうございました。

11/2^火 小山南ロータリークラブ

会長 神山 宜久
幹事 尾崎 弘明



COVID-19の感染禍により日程が延び延びになってしまいましたが、11月2日にやっと石田ガバナー及び小浦ガバナー補佐をお迎えして開催することが出来ました。テレワークになる事もなく開催できたことを関係各位に感謝申し上げます。

懇談会の後、例会の席で映像による卓話を頂きまして、ロータリーの動きをわかりやすく説明して頂きました。感染拡大に伴い集会が禁止され、ガバナーとクラブ会員の触れ合う機会が削がれる事を危惧しておりましたが、石田ガバナーより直々の講話が頂けた事に会員一同喜びを感じる所であります。ガバナーよりご指導頂いた事を大切に活動の展開を図って行く所存であります。

以上

改めて2点ほどお願いがありますのでよろしくお願いします。1点は懇談会でも申し上げましたが、米山記念奨学金の件です。最近の奨学生は中国系が多いようですが、中国はもうすでに裕福な一等国です。できれば他の国の留学生に枠を広げて頂きたいと思えます。また、日本の学生が貧困のため学業が続けられなくなっている者がおります。この学生に振り向けられるような方向性を見いだせないものかと思えます。2点目は財団地区補助金についてです。当クラブは「小山南ロータリー文庫」を公民館に設置していますが、「蔵書を充実させて、読書感想文コンクールを行う」との趣旨で申請しておりますが、前年度からコロナ禍のために2年間も延び延びになっております。イベントを中止して蔵書の充実だけでも地区補助金の適用範囲に入らないものかと思案しております。ご配慮をお願いします。

11/11^木 宇都宮西ロータリークラブ

会長 黒須 祐作
幹事 濱田 隆也



緊急事態宣言が解除され、新型コロナ感染者もやっと県内で一桁という状況の中、11月11日、石田ガバナー・宇都宮西ロータリークラブ公式訪問を迎えました。11時前、例会場宇都宮東武ホテルグランデ玄関に話題のガバナーカーが横付けされ、石田ガバナー、岡本地区大会実行委員長、金子地区幹事、石塚地区会計長の4名がご来訪されました。

〈会長幹事懇談会〉

年度前に提出いたしましたガバナーアンケートに沿って、クラブの現状についてのご質

ガバナー公式訪問並びにクラブ紹介(奉仕事業)だより

間、ご指導をいただきました。特に昨年度にガバナー賞を受賞した「宇都宮市に対して自転車シミュレーター1台を寄贈 高齢者の自転車事故防止の一助」に関連し、将来的に継続できる事業となるようにとご指導をいただきました。また、当クラブとインターアクトクラブで続けている足尾の植林は新型コロナ感染により2年間休止していますが、状況により来年はぜひ再開したいということをお願いしました。また、会員増強等について当クラブの現状、方針をご説明いたしました。

〈例会〉

10月からなんとか再開した例会も少しずつ以前の形に戻ってきました。今回は公式訪問に際して会員の参加も多く、やっと賑わいを取り戻してきたようです。会長挨拶の後、岡本地区大会実行委員長より地区大会開催のご報告をいただきました。地区大会開催にあたっては当クラブ、伊東パストガバナーの時代の里村地区幹事の他、恩田、木内会員よりアドバイスをさしあげたことにお礼をいただきました。お役に立てて、大変光栄なことと存じます。地区大会の成功、おめでとうございます。

石田ガバナーからは卓話としてガバナーアドレスをいただきました。まずRI会長のビデオメッセージをいただいた他、これからのRIの変革についてもお話をいただきました。地区の在り方や会員構成などについても大きく変わっていくこととなりそうで、会員としても認識を新たにしなければと思いました。当日はガバナー一行のご訪問のお陰でいつもより多くのスマイルを会員より頂くことになりました。有難うございました。例会終了後には出席者全員で公式訪問の記念写真を撮ることができました。多くの会員が集合しての記念写真も本当に久しぶりでした。石田ガバナーはじめご来訪いただいた皆様、お世話になりました。

今回、会長幹事懇談会や例会の前後など、ガバナーや来訪者の皆様と直接お会いして楽しく本音のお話をしながら過ごすことができました。新型コロナ感染によって、リモート例会なども経験しましたが、やはり例会で直接お会いして会話がすることがロータリーの楽しさにつながっていくのであろう、という思いを強く持ちました。日本での、そして世界中での新型コロナ感染の終了を切に祈念いたします。

〈わがクラブの奉仕事業〉

宇都宮市に対し交通安全運動として、年度ごとに様々な角度から支援を継続しています。昨年度は高齢者の事故防止として自転車シミュレーターを寄贈し、ガバナー賞を受賞。

足尾の植林活動は当クラブの継続した事業であり、インターアクトクラブとともに活動していましたが、新型コロナ禍により2年間中止となっています。今年度はぜひ活動ができるよう、計画中です。

11/11(木) 足利西ロータリークラブ

会長 長竹 一郎
幹事 荻野 純三



11月11日(木)コロナ禍の中、『東葉館』に於いて、午後5時から、石田ガバナー、栗原ガバナー補佐代理、金子地区幹事、石塚地区会計長をお迎えし、ガバナー公式訪問が開催されました。

会長幹事との懇談会では、何点かご指摘いただきました。

会員増強について目標をもって取り組んでほしいという事です。

ロータリー活動をPRすることで西RCのイメージアップを図り、公共イメージによって会員増強に繋げる。そしてロータリー活動に興味を持って頂き増強する。是非PRを進めて頂きたい。

また、女性会員を増やしたり、退会会員を名簿に載せたり、親子会員の入会を勧めることも必要です。会費の調整をしているクラブもあります。

それから地区補助金の有効活用です。セミナーが2月にありますので、是非参加して進めて頂きたい。

色々ご指導を頂き、ありがとうございました。これからも努力したいと思います。

〈我がクラブの奉仕事業〉

2014年の10月から7年に渡り「愛リバーとちぎ」の実施団体として、近隣の松田川・彦谷川の清掃を行っております。昨年度はコロナの関係で、中止しましたが、今年度は活動を再開しております。

創立50周年記念事業として松田川にクリーン運動の看板設置、又その後には、河川清掃活動が認められ、西幸楽荘に看板を1基、設置して頂きました。RC名入りですので、地元のイメージアップに繋がっていると思います。

それから、9年間続いております足利西ロータリークラブバドミントン交流会がございます。青少年の育成、又は地域社会の交流等の目

ガバナー公式訪問並びにクラブ紹介(奉仕事業)だより

的で開催しております。参加者数は90名前後でして、会員が昼食の焼きそばを焼き皆さんに振舞っています。昨年度はコロナの為に中止致しました。今年度の12月開催も中止をした方が良くいとガバナーからのご指摘があり、中止の方向です。

コロナ禍の中での社会奉仕と致しまして、足利赤十字病院にマスク2000枚・消毒液の寄付、又足利市にふるさと足利応援寄付金(山火事)、コロナ感染予防の為にビフェクトシール80セット等の寄付をしております。

今後も地域集中・地域密着で奉仕活動を通じて会員相互の親睦・友情を図り、地元から奉仕事業を進めていきたいと思っております。

11/1月 足利東ローターアクトクラブ

会長 相樂 侑加
幹事 金田 結衣



11月1日、足利東ローターアクトクラブに、石田順一ガバナー、佐貫直通ガバナーエレクト、松山栄地区ローターアクト委員長をはじめ、提唱クラブであります足利東ロータークラブの皆様をお招きしてガバナー公式訪問を執り行いました。今回のガバナー訪問は、感染症拡大防止対策といたしまして、Zoomを使用したオンラインでの開催といたしました。

昨年度より、ローターアクトはロータリーの一部となり、在り方が大きく変化しました。今年度より地区ローターアクト代表が地区ローターアクト委員会の共同委員長・各ローターアクトクラブの会長が地区ローターアクト委員を務め、次年度は、ローター

アクトの人頭分担金の支払いが始まるという過渡期の真っ只中にいます。そのような中で、当クラブの紹介や課題を共有させていただき、皆様と意見交換を行いました。意見交換では、石田順一ガバナーより、ロータリーについて勉強しながら悩んだことがあれば提唱クラブに相談し、楽しいクラブ・魅力のあるクラブにしていってほしい。皆さんで力を合わせながら前へ歩いていながら、いろいろな知識や知恵を生かして社会奉仕活動や国際奉仕活動に臨んでほしい。と今後のローターアクトクラブの方向性を示していただきました。参加していただいた多くのロータリアンの皆様からの貴重な意見をいただき、新たな考え方を発見する機会となりましたこと、嬉しく思います。提唱クラブをはじめ、地区内外のロータークラブやローターアクトクラブの皆様と手を取り合いながら課題に対する具体的な改善策を見出し、改善・解決に励んでいきたいと思っております。

今回のガバナー公式訪問でのご教授いただきましたたくさんの考え方を生かしながら視野を広げ、今後の活動に生かしていきます。

<我クラブの奉仕事業>

8月に実施した献血活動を紹介させていただきます。8月8日～8月14日に「献血ウィーク」と題し、各自で献血会場に足を運び、献血に協力するという活動を行いました。当クラブの会員のうち、看護を学ぶ学生が3名ということもあり、未来の医療人としての奉仕活動に力を入れたいという想いから、昨年度に引き続き献血例会を開催いたしました。新型コロナウイルス感染症の蔓延によって外出自粛をはじめとする感染対策が講じられ、献血者数が減少していることから、献血の需要が高まっているのが現状です。緊急事態宣言が発出されていた中ではありましたが、不要不急ではない献血活動を各自で行ったことで、今できる奉仕活動に力を注ぐことができたと考えております。

また、2月に地区行事として栃木県赤十字血液センターと宇都宮市内にて献血活動を行います。これは、全国のローターアクトが各地区で一斉に献血活動を行う『全国一斉献血』という事業となっております。今後も献血活動を継続していくことで、どこかで輸血を待つ患者さんに血液と生きる力を届けていきたいと思っております。

ガバナーノミニー・デジグネート確定宣言

2024-25年度ガバナー候補者の推薦期間を、2021-22年度ガバナー月信第3号で公示しました。そこで、2021年10月31日の締め切りまでに、鹿沼ロータリークラブより、市田登君が2021-22年度ガバナーノミニー・デジグネート(2024-25年度ガバナー)として推薦されました。

2022年1月5日、地区ガバナー指名委員会は、RI細則12.020に基づき、鹿沼ロータリークラブ会員市田登君を2020-21年度ガバナーノミニー・デジグネート(2024-25年度ガバナー)に指名いたしました。

これに対し、対抗候補者がいる場合は、2022年1月20日までに推薦下さるようEメールにて通知しましたが、締め切りまでに有りませんでした。

よって、市田登君を「2021-22年度 国際ロータリー第2550地区ガバナーノミニー・デジグネート」として正式に確定致しました事を茲許宣言いたします。

国際ロータリー第2550地区ガバナー 石田 順一
2022-23年度ガバナー指名委員会委員長 川嶋 幸雄



いちだ のほる
市田 登氏

生 年 月 日	1952年6月14日
所 属	鹿沼ロータリークラブ
入 会	1998年5月21日
職 業 分 類	建築設計・施工
勤 務 先	(株)アガ設計工業 取締役会長 宇都宮市砥上町1663-13
ロ ー タ リ ー 歴	2013-14 鹿沼RC会長
公 職	鹿沼市議会議員(2期目)

2022年1月21日クラブ宛報告済

お知らせ

<職業奉仕委員会委員長交代>のお知らせ

職業奉仕委員会委員長瀬野公男様(小山南RC)が体調不良のため、1月31日をもって辞任しました。

2月1日付で片柳均様(栃木南RC)が就任しました。

以上、お知らせいたします。

瀬野様の一日も早い体調回復をご祈念申し上げます。



第47回ローターアクト年次大会報告

国際ロータリー第2550地区
地区ローターアクトクラブ代表 **盛合 一功** (宇都宮東RAC)

寒冷の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。11月28日(日)に「国際ロータリー第2550地区 ローターアクト2021-2022年度 第47回 地区年次大会」を、会場とオンラインのハイブリット形式にて開催いたしました。本大会は総勢約70人の方にご参加いただくことが出来ました。本大会開催に関して、国際ロータリー第2550地区の方々には多方面からご協力いただき誠にありがとうございました。合わせて、遠方より足を運んでいただいた友好地区ローターアクトクラブの同志にも重ねて御礼申し上げます。

本大会の開催方法はZOOM(オンライン会議ソフト)と対面形式(ホテルニューイタヤ)の両会場を同時刻に繋げ会を進行するハイブリット形式で臨みました。また、本大会は全国で2番目のローターアクト年次大会開催です。昨年は、感染症予防のためにオンライン形式での年次大会が主流となっていましたが、今年度の年次大会は「対面で顔と顔を合わせて交流したい」という実行委員の強い思いから、対面形式での開催にこだわりを持ち、無事開催することが出来ました。

また、今年から「蔵の街ローターアクトクラブ」が誕生し、2550地区のローターアクトクラブは4つに増えました。4つのローターアクトクラブに各担当を設けて、それぞれが主体的に年次大会に参加できる体制を整え、協力していくことで2550地区としての年次大会にしていきました。各クラブのメンバーがそれぞれの役割を果たし、徹底することで万全の環境で望むことが出来たと感じております。



ローターアクト年次大会報告

第47回地区年次大会の大会テーマは「未来につなぐ」と掲げました。「未来の私達を考える」「未来の災害に備える」ことを目的として宇都宮を舞台に考えたいと思い、大会テーマを設定しました。今年2021年は、東日本大震災から10年が経過しました。一方で、近年も数多くの災害が各所で起きており、首都直下型地震を始めとする大規模災害が今後予想されています。コロナウイルスも一種の災害と言えるかもしれません。私達ローターアクトは未来の日本を築いていく存在です。次世代を担うローターアクトで災害をテーマに考えることによって、未来の日本の問題に向き合う機会としました。今回のプログラムを通じて、災害意識を再認識してもらい、各クラブでの活動に生かしていただければ幸いです。

メインプログラムでは、日常・緊急時どちらにも活用できる「フェーズフリー」をキーワードに、ハードな点からソフトな点まで広い視点で考えるワークショップを企画しました。プログラムは日常について目を向ける工程と、非日常について過去の経験を思いかえす工程、そしてそれらの「日常」「非日常」を組み合わせ、新たな価値を創造する工程の3つに大分類することが出来ます。各テーブルにファシリテーターを配置し、サポート体制を整えることで、グループワークを円滑に行いました。各テーブルでのディスカッションは大いに盛り上がり、想定していた以上にさまざまなフェーズフリー：新たな価値が生まれました。このグループワークでは、世代関係なく問題意識のある災害についてのワークにすることで、友好地区のローターアクトやロータリアンと対等の立場で意見を交わすことが出来ました。災害のテーマはグループごとに変わっており、自然災害から感染症、人の本性という着眼点もありました。本大会のメインプログラムは、多様な人の経験の共有、そこから価値を見出すという点において有意義だったと思います。

今大会は感染症と向き合いながらの開催になりました。その中でも、無事開催することが出来たのは、2550地区のローターアクトの綿密な計画と、会場に来てくださった友好地区ローターアクト、自地区ロータリアンが関わったことです。繰り返しになりますが、本大会開催に関してご尽力いただいた方々に御礼申し上げ、国際ロータリー第2550地区 ローターアクト2021-2022年度 第47回 地区年次大会の報告とさせていただきます。

誠にありがとうございました。





作新学院大学経営学部経営学科3年
米山ロータリー奨学生
世話クラブ*栃木西RC
名前: 徐 晨瑜
ジョ シンユ

新型コロナウイルスにおけるネットショッピング

作新学院大学

経営学部経営学科 3 年

RY041681 徐 晨瑜

1. 研究目的

2020 年は新型コロナウイルス感染症の拡大で多くの人々が影響を受け、従来の生活からニューノーマル時代の新たな生活様式へと対応をせまられた年となりました。まず、消費者による「買い物」のスタイルはコロナ禍でどのように変化していったのかについて分析します。そして、ネットショッピングにおける売れ筋商品の変化も究明します。

2. 「買い物」スタイルの変化

2020 年は世界中で「買い物」のスタイルが大きく変わった 1 年でした。新型コロナウイルス感染拡大への不安が巻き起こした「買いだめ」、そして店頭から消えた商品がネット上で高く転売される問題も勃発しました。そして緊急事態宣言後は、買い物のための外出を控える人が増えたこと、小売店や飲食店が時短営業や営業自粛に踏み切ったことによりネットショッピングの利用が急増しました。

まずネットショッピングが過去最大の利用率に達しました。総務省の調査によると、その利用世帯は 2020 年に初めて 50% を突破しました。2019 年の約 42% から増加率約 9% と、大きく躍進していることがわかります。外出自粛要請や店舗の時短営業などで、実店舗での買い物を控える消費者が増えたこと、また、商品を買占めて高く売る転売問題などが勃発し、品薄になる前にネットで「買いだめ」しておきたいという消費者心理も、少なからず影響したと考えられます。

	2020 年 10 月	2019 年 10 月	増加率
ネットショッピング利用世帯の割合	50.9%	42.1%	+8.8%

そして、ネットショッピングの利用率が増加したことで、その支出額も過去最大になりました。

同じく総務省の家計状況調査では、2020 年 10 月の 1 世帯あたりのネットショッピング支出額は 2019 年 10 月の支出額に比べて約 38% 増を記録しました。ネット利用世帯に限定した平均でも 2020 年 10 月が 3 万 5092 円と、2019 年 10 月の 3 万 819 円に比べて約 14% と大きく上昇しました。

	2020 年 10 月	2019 年 10 月	増加率
ネットショッピングの支出額	1 万 7876 円	1 万 2967 円	+37.9%
ネットショッピング利用 1 世帯あたりの支出額	3 万 5092 円	3 万 819 円	+13.9%

3. 売れ筋商品の変化

新型コロナウイルスの感染が拡大する以前は、ネットショッピングの支出をけん引していたのは「旅行」と「チケット」でした。この 2 つだけでネットショッピングの支出全体の約 3 割を占めていました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で旅行、チケットともに売り上げが激減しました。代わりに「食品」「衣類・履物」「家電」などの増加が目立っています。

	名目増減率	ネットショッピング全体の名目増減率に対する名目寄与度
食品	72.2%	10.20%
衣類・履物	48.2%	5.51%
家電	77.6%	4.55%
自動車等関係用品	84.0%	2.23%

4. 結論

新型コロナウイルスの感染拡大を機に日本のネットショッピング利用世帯は 50% を超えましたが、逆に言うと、まだ 50% の世帯しかネットショッピングを利用していないということでもあります。この残り 50% がネットショッピングを利用するようになれば、ネットショッピング市場規模は単純計算しても 2 倍に拡大することになります。つまり、日本のネットショッピングには、まだまだ大きな伸びしろがあるということです。



作新学院大学経営学部経営学科3年
米山ロータリー奨学生
世話クラブ*宇都宮南RC

名前:LE HONG HA

レ ホン ハ

作新学院大学経営学部経営学科3年生

名氏:LE HONG HA

ベトナムにおけるロジスティクス研究

I. はじめに

ベトナムにおけるロジスティクスは、貨物輸送サービスを中心に1990年代から発展してきた。2005年以前は全国でロジスティクス・サービスを提供する企業は約700社であったが、現在では4000社あり、その97%が中堅・中小企業である。そのうち、主な事業がフォワーディング業務、輸送、倉庫および税関に関する業務だとされている。

II. ベトナムにおけるロジスティクス発展

現在、ベトナムにおけるロジスティクスとして、主に以下のサービスが行われている。

- ①貨物収集輸送サービス（海路、陸路、空路）
- ②港湾、空港、駅などの公共インフラにおける貨物輸送、顧客サービス
- ③倉庫リース、荷揚げ、関連顧客サービス
- ④ロジスティクス・ソフトウェアの提供、サード・パーティー・ロジスティクス（3PL）などの形態によるサービス

ベトナムの物流サービス（ロジスティクス）業界においては、自由貿易協定の増加と電子商取引（EC）拡大が業界発展に大きく貢献するだろう。ベトナム経済専門家によれば、ベトナムのロジスティクス部門は、コロナ収束後、大転換の時期を迎えると評価している。具体的には、裾野産業の発展と電子商取引（EC）活動の増加により、ロジスティクスは投資を以前にも増して呼び込み、多くの開発機会を持つ分野になると評価している。ベトナム政府は現在、経済成長の目標を達成するための施策を進めている。

III. ベトナムと日本のロジスティクス違い

日本の物流センターは仕分け作業、入荷、出荷、在庫管理などに、WMS（倉庫管理システム）のコンピュータシステムを完備した倉庫。ベトナムの伝統的なスタイルで設計されている倉庫関連の仕事を少ししたことがある。商品が会計ソフトウェアによって完全に管理される。あるブランドをベトナム国内の独占流通会社として、輸入、輸出、商品のチェック作業は非常に厳しく行われる。欠品は絶対にだめである。

ベトナムに比べて、日本は領土全体で計画的な物流システムを持っている。倉庫は主要な港の近くに建設され、スムーズな輸送システムが備わっている。倉庫システムは冷蔵、温かい貯蔵、食品、医薬品保存サービスなど、さまざまな機能を提供している。

ベトナムの物流サービスは今後さらに発展の可能性はある。物流の業務の範囲はかなり広いものになっていますが国際輸送（貨物購入）、貨物配送、マルチメソッドトランスポート、倉庫、港、パッケージを実装する企業、3PLを中心とした物流活動をする。ベトナムの輸出品は海上輸送で出荷されますが外国のキャリアによって行われる。国内のキャリアが、外国のキャリアと競争することは困難である。送料が高いことが理由。道路で輸送される国内品であるが物流センターが不足しているため、コストがまだ高いと思う。

IV. おわりに

ベトナムの物流・ロジスティクス市場の成長は今後も継続していくだろう。中間層の増加により、消費市場が急成長するなか、今後は特に倉庫サービスの需要は特に拡大していくと見られる。



コーディネーター NEWS

2022年2月号

発行: Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

2022年も年始からCOVID-19との闘いが続く

昨年の2月号コーディネーターニュースに「新型コロナウイルス感染拡大が第3波！緊急事態宣言」と題して書かせていただきましたが、1年経ってまたもや、日本では第6波がオミクロン株によってもたらされ、年末から20歳・30歳台を中心に急激に感染者が増え始め各地で「まん延防止等重点措置」を検討しております。

これから3～4週間後に高齢者にも感染者が広がり医療ひっ迫状況に追い込まれていくのではと危惧されます。メルクの飲み薬が出て、2月にはファイザーの飲み薬が適用されると治療に明るい兆しがありますが、高齢者の方々に3回目のワクチン接種が終わるのには数か月、4月乃至5月までかかるでしょうから油断せず、感染予防対策を万全にいたしましょう。

2022年7月からロータリーアクトクラブ会員が人頭分担金を納入することになっております。人頭分担金の件、地区の委員会にロータリーアクトの参加、またロータリー財団への寄付、補助金の使用など、多くの事をロータリアンとロータリーアクトとが交流できる機会を今まで以上に増やし話し合って上記の内容の方向付けが急がれます。もうしっかり方向付けが済んでいる地区・クラブも多いのですが、国際ロータリーの会員はロータリークラブとロータリーアクトクラブであるという事に変わったことをロータリアンとロータリーアクトがしっかり捉えてそれぞれの立場でロータリー活動していく事が大切でしょう。

もう一点の話題として (以下My ROTARYより)

ロータリーは、すべての人と尊厳と尊重をもって接し、あらゆる人の声に耳が傾けられるようにし、親睦、奉仕、リーダーシップの公平な機会を設けることに力を注いでいます。ロータリーの会員は、ロータリーが多様で、公平で、インクルーシブな組織となることを望み、またそうあるべきであると考えています。ロータリーは、開放的なコミュニケーションを育み、学びあい、支えあうことのできる環境を作りだすことに全力を傾けています。国によってロータリーでの体験は異なるかもしれませんが、不平等や偏見を生み出す力関係、歴史、構造は世界中に存在します。多様性、公平さ、インクルージョンは、世界的に重要な問題です。

国際ロータリー理事会とロータリー財団管理委員会は、多様性、公平さ、インクルージョンの原則を採用し、ロータリーはあらゆる言動においてこれらの原則に従うための行動を起こしています。多様で、公平で、インクルーシブな組織となることで、ロータリーでの会員の体験がより充実したものとなり、より有意義で効果的な奉仕プロジェクトの実施が可能となり、ロータリーに参加したいと望む人々にとって魅力のある開放的・歓迎的な環境を築くことにつながります。

My ROTARYにあるこのDEI(多様性、公平さ、インクルージョン)を各クラブの中で会員同士がどのような言動が適切かを話し合いそして行動に移していきましょう。

第2地域 ロータリーコーディネーター補佐 松坂 順一(東京葛飾東RC)

オミクロン株が日本中にまん延している中、ロータリー活動にも支障が出ていますが、ロータリアンの皆様には大変な日々が続いておられることとお察しいたします。我が2760地区でも公共イメージ向上に最適手段であるWFF(ワールドフード+ふれ愛フェスタ)を4月に予定しておりますが、開催できるか心配しております。

そんな中で、2760地区では一般の皆様にもロータリー活動を知っていただく手段として「国際ロータリー第2760地区の活動」と題して小冊子を発行いたしました。この冊子は地区84クラブの活動や地区委員会の活動を一般の方に紹介するために公共イメージ向上委員会が主となり発行し、各方面にも配りました。この活動はどこの地区でも行っている活動ではあるかと思いますが、公共イメージ向上委員会が中心となり、実施することに意味があり、是非各地区においても行っていたいただきたいと思います。冊子の内容についてご質問等ございましたら、2760地区の事務局までお問い合わせいただければと存じます。

第2地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 加藤 陽一(瀬戸RC)

2021-2022 地区内主要行事

月	日	曜日	行 事	場 所	担 当
2	12	土	宇都宮ロータリークラブ70周年記念式典 ★延期		
2	13	日	第6グループIM ★中止		
2	13	日	22-23年度派遣学生 オリエンテーション ★延期	ホテルニューイタヤ 多気山不動尊	地区青少年交換委員会
2	19	日	第3回諮問委員会	ベルヴィ宇都宮	ガバナー事務所
2	19	日	第2回地区運営委員会	ベルヴィ宇都宮	ガバナー事務所
2	19	土	2022-23年度地区チーム研修セミナー	ベルヴィ宇都宮	
2	20	日	第4グループIM ★中止		
2	26	土	第8グループIM	ニューミヤコホテル	
2	26	土	第9グループIM	サンルート佐野	
2	27	日	米山 修了式・歓送会		地区米山記念奨学会委員会
3	5	土	第3グループAB IM	ホテルニューイタヤ	ホスト:宇都宮陽南RC
3	13	日	2022-23年度 会長エレクト研修セミナー (PETS)	作新学院大学	ホスト:宇都宮陽東RC
3	13	日	2022-23年度 幹事エレクト研修セミナー (SETS)	作新学院大学	ホスト:宇都宮陽東RC
3	27	日	2022-23年度財団補助金管理セミナー	ベルヴィ宇都宮	地区ロータリー財団委員会
4	10	日	22-23年度派遣学生 オリエンテーション	ホテルニューイタヤ	地区青少年交換委員会
4	10	日	米山新奨学生・カウンセラー対象オリエンテーション		地区米山記念奨学会委員会
4	19	火	第5回ゴルフ選手権大会	日光カンツリー倶楽部	
5	8	日	2022-23年度 地区研修・協議会	作新学院大学	ホスト:宇都宮陽東RC
6	5	日	22-23年度派遣学生 オリエンテーション	ホテルニューイタヤ	地区青少年交換委員会
6	12	日	高校生RYLAセミナー		地区RYLA委員会
6	19	日	米山第1回地区米山委員会・奨学生卓話研修会		地区米山記念奨学会委員会

新入会員紹介



村山 友亮

宇都宮さつきRC
2021年9月1日入会

株式会社一蓮
代表取締役

外構業を営んでおります。一日でも早く皆様のお役に立てるよう、精進します。



小島 勇

宇都宮さつきRC
2021年10月1日入会

株式会社ジェイ.マッチ
代表取締役

会員の皆様との出会いにわくわくしております。宜しくお願いいたします。



遠藤 英昌

足利RC
2021年1月2日入会

宗教法人善徳寺
住職

皆様方に教わりながらロータリー活動を楽しんで行きたいと思っております。



杉本 充彦

宇都宮東RC
2022年1月11日入会

杉本法律司法書士事務所
代表司法書士

40歳を迎えたことを機に、入会を決意致しました。よろしくお願いいたします。



駒場 洋助

宇都宮東RC
2022年1月11日入会

株式会社日環
常務取締役

宜しくお願い致します。



内木 大輔

しもつけRC
2022年1月19日入会

学校法人内木学園
園長

宜しくお願い致します。

入会おめでとうございます

物故会員

訃報

ご冥福を
お祈りいたします



金子 和夫

鹿沼RC

2021年12月26日逝去(享年83歳)
1981年11月12日入会

ロータリー歴

栗野西方RC 第9代会長(1998-99)
栗野西方RC 第19代会長(2007-08)
栗野西方RC 第27代会長(2015-16)
財団、米山記念奨学会などの寄付歴
マルチプル ポール・ハリス・フェロー 2回
米山功労者 7回

12月会員数報告

	クラブ名	例会数	会 員 数									
			7月	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性員	40歳未満	
第1グループ	大 田 原	3	29	28	0	1	0	1	-1	1	0	
	黒 磯	2	36	37	0	0	1	0	1	2	1	
	西 那 須 野	2	47	47	0	0	1	1	0	2	0	
	黒 羽	4	7	7	0	0	0	0	0	0	0	
	大 田 原 中 央	3	24	24	0	0	0	0	0	1	2	
第2グループ	鳥 山	3	17	16	0	0	0	1	-1	2	0	
	氏 家	4	24	23	0	1	0	1	-1	2	0	
	矢 板	2	10	10	0	0	0	0	0	1	0	
	馬 頭 小 川	4	21	21	0	0	0	0	0	0	0	
	高 根 沢	3	15	15	0	0	0	0	0	0	0	
第3グループA	宇 都 宮	3	101	107	1	1	7	1	6	3	1	
	宇 都 宮 西	4	75	74	0	1	1	2	-1	0	1	
	宇 都 宮 北	4	43	42	0	1	1	2	-1	0	0	
	宇 都 宮 90	3	46	46	0	1	2	2	0	6	3	
	(宇都宮90結・衛星)	1	6	5	0	0	0	1	-1	3	2	
第3グループB	宇 都 宮 陽 北	3	46	47	0	0	1	0	1	9	8	
	宇 都 宮 東	3	112	112	0	1	4	4	0	0	4	
	宇 都 宮 南	4	54	55	0	0	2	1	1	6	1	
	宇 都 宮 陽 東	3	49	49	0	1	1	1	0	8	1	
	宇 都 宮 陽 南	4	24	25	0	0	1	0	1	7	4	
第4グループ	宇 都 宮 さ つ き	3	25	27	0	0	2	0	2	4	4	
	真 岡	4	57	58	1	0	1	0	1	0	0	
	益 子	4	28	29	0	0	1	0	1	2	1	
	真 岡 西	3	35	36	0	0	2	1	1	5	0	
	し も つ け	4	20	18	0	1	0	2	-2	3	1	

	クラブ名	例 会 数	会 員 数									
			7月 日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性員	40歳 未満	
第5グループ	小 山 山	3	22	22	0	0	3	3	0	1	0	
	小 山 南	3	15	14	0	0	0	0	-1	2	0	
	小 山 東	3	21	21	0	0	0	0	0	0	0	
	小 山 北	4	24	23	0	1	0	0	-1	0	4	
	小 山 中 央	2	24	24	0	0	0	0	0	2	0	
第6グループ	栃 木	4	46	49	0	0	3	3	3	5	0	
	栃 木 西	3	34	33	0	1	0	0	-1	1	0	
	岩 舟	2	11	11	0	0	0	0	0	0	0	
	壬 生	3	20	20	0	0	0	0	0	2	0	
	栃 木 南	4	36	37	0	0	1	1	1	7	1	
第7グループ	日 光	4	21	21	0	0	0	0	0	4	0	
	鹿 沼	4	62	60	0	1	0	0	-2	2	4	
	今 市	3	41	42	0	0	2	2	1	1	0	
	鹿 沼 東 央	4	37	37	0	0	0	0	0	5	0	
	鹿 沼 中 央	2	17	17	0	0	0	0	0	2	0	
	今 市 き ぬ	3	27	28	0	1	2	2	1	0	0	
第8グループ	足 利	2	21	20	0	1	0	0	-1	0	1	
	足 利 東	3	34	35	0	0	1	1	1	4	0	
	足 利 西	1	11	11	0	0	0	0	0	1	0	
	足 利 わ た ら せ	2	35	35	0	0	0	0	0	0	0	
第9グループ	佐 野	2	55	56	0	0	1	1	1	0	0	
	葛 生	2	39	35	0	3	2	2	-4	0	0	
	田 沼	2	43	43	0	0	0	0	0	0	0	
	佐 野 東	3	21	22	0	0	1	1	1	2	0	
	4 8 R C		1668	1674	2	17	44	38	6	108	44	

(メークアップは同じ年度内に行うことができるようになった為、地区では各クラブごとの出席率は掲載いたしません。)



国際ロータリー第2550地区 ガバナー事務所

〒321-0945 宇都宮市宿郷5-21-15

ベルヴィ宇都宮内1F

TEL:028-651-2550 FAX:028-651-2551

e-mail : m2550@agate.plala.or.jp URL : http://www.rid2550.com/